

シラバス [音楽]

学年	コース	教科	科目	単位数
中学1年	グローバル選抜 探究・未来探究	音楽	音楽	2
教科書				
『中学生の音楽1』教育芸術社 『中学生の器楽』教育芸術社				

授業のねらい (年間指導目標)

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につける。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながら良さや美しさを味わって聴く。
- (3) LC を取り入れ主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

授業の進め方 (年間指導計画)

1 学期	【鑑賞】 音楽から得られるイメージと、音楽の特徴との関わりに注目しながら鑑賞する。
	【歌唱】 校歌や甲子園の大会歌を通して、歌唱法を身につけます。また、教科書の楽曲から発声の基礎を学ぶ。楽譜を読み、音の聞き取りができるようにする。
2 学期	【鑑賞】 音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴く。日本やアジア各地の音楽を聴き、グローバル的な視野を広げる。
	【歌唱・器楽】 和楽器を演奏する楽しさや合わせる楽しさを体する。歌唱では、情景を思い浮かべて歌う。楽譜を読み、音の聞き取りができるようにする。校歌、甲子園大会歌も継続して歌う。
3 学期	【鑑賞】 楽曲や作曲者、楽譜の読み方や書き方について理解を深める。
	【歌唱】 中学卒業式の式歌を練習する。(校歌・蛍の光等) 甲子園大会歌の歌唱も継続する。音の聞き取りも継続する。

評価方法

<一・二学期>

実技点 7割 (課題提出で評価されるものも含む)

平常点 3割 (提出物・主体的、協働的に学ぶ態度・出席状況)

<三学期>

実技点 4割 (課題提出で評価されるものも含む) ペーパーテスト 4割

平常点 2割 (提出物・主体的、協働的に学ぶ態度・出席状況)

備考

シラバス〔音楽〕

学年	コース	教科	科目	単位数
中学2年	グローバル選抜 探究・未来探究	音楽	音楽	1
教科書				
『中学生の音楽2・3上』 教育芸術社 『中学生の器楽』 教育芸術社				

授業のねらい（年間指導目標）

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につける。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながら良さや美しさを味わって聴く。
- (3) LC を取り入れ主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1 学期	【鑑賞】 曲の構成に注目しながら、曲想の変化やおもしろさを理解する。
	【歌唱】 校歌や甲子園大会歌の復習。拍やパートの役割を意識し、ハーモニーを楽しみながら合唱する。
2 学期	【鑑賞】 オペラに親しみ、その音楽を理解します。楽譜や音楽用語についての理解を深める。
	【器楽・歌唱】 楽器の演奏を通して、演奏する楽しさや、合わせる楽しさを体験する。
3 学期	【鑑賞】 日本や世界の諸民族の声や音楽を学びます。楽曲や作曲者、楽譜の読み方や書き方について更に理解を深める。
	【歌唱】 中学卒業式の式歌を練習する。(校歌・蛍の光等)

評価方法

<一・二学期>

実技点 7割 (課題提出で評価されるものも含む)

平常点 3割 (提出物・主体的、協働的に学ぶ態度・出席状況)

<三学期>

実技点 4割 (課題提出で評価されるものも含む) ペーパーテスト 4割

平常点 2割 (提出物・主体的、協働的に学ぶ態度・出席状況)

備考

シラバス〔音楽〕

学年	コース	教科	科目	単位数
中学3年	グローバル選抜 探究・未来探究	音楽	音楽	1
教科書				
『中学生の音楽2・3下』 教育芸術社 『中学生の器楽』 教育芸術社				

授業のねらい（年間指導目標）

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につける。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながら良さや美しさを味わって聴く。
- (3) LC を取り入れ主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1 学期	【鑑賞】 音楽の要素に注目しながら楽曲を聴く。
	【歌唱】 校歌や甲子園大会歌の復習。歌詞や曲想から表現を工夫して歌う。
2 学期	【鑑賞】 曲が生まれた背景を理解して、作曲者の思いを感じ取りながら聴く。 日本の伝統音楽に親しむ。
	【器楽・歌唱】 楽器の特性を生かして、演奏する楽しさや合わせる楽しさを体験する。 日本語の発音に注意しながら歌唱する。校歌や甲子園大会歌の復習
3 学期	【鑑賞】 楽曲や作曲者、楽譜の読み方や書き方について更に理解を深める。
	【歌唱】 中学卒業式の式歌を練習する。（校歌等）

評価方法

<一・二学期>

実技点 7割 （課題提出で評価されるものも含む）

平常点 3割 （提出物・主体的、協働的に学ぶ態度・出席状況）

<三学期>

実技点 4割 （課題提出で評価されるものも含む。） ペーパーテスト 4割

平常点 2割 （提出物・主体的、協働的に学ぶ態度・出席状況）

備考

シラバス [音楽]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	グローバル選抜 探究・選抜・未来 探究	芸術	音楽 I	2
教科書				
『ON! 1』 音楽之友社				

授業のねらい (年間指導目標)

- (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。
- (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことができる。
- (3) LC を取り入れ主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

授業の進め方 (年間指導計画)

1 学期	<p>【歌唱】 日本語や英語の発音について学ぶ。(校歌、甲子園コーラス「今ありて」の合唱 日本のおうた、詩の朗読、外国曲の歌唱)</p> <p>【器楽】 楽譜の読み方学び、基本的な器楽曲の演奏について学ぶ。(鍵盤楽器、リズムアンサンブルの読譜)。</p> <p>【鑑賞】 音楽を聴いて感じ取るイメージや感情を自分の言葉で文章として書く。(交響曲、管弦楽曲、独奏曲等鑑賞)</p>
2 学期	<p>【歌唱】 ミュージカルや映画音楽の場面や情景を思い浮かべ、劇と音楽の関わりを味わって歌う。校歌、卒業式歌、甲子園大会歌を取り入れる。</p> <p>【鑑賞】 登場人物の性格や感情と声との関わりを感じ取る。(オペラ、ミュージカルの鑑賞)</p> <p>【器楽】 音の響きを聞き、楽器を演奏する喜びを知る。(鍵盤楽器、ギターのおうた)</p>
3 学期	<p>【歌唱】 歌詞や曲全体の意味を理解し、合唱表現を体験する。(校歌、卒業式歌、甲子園コーラス「今ありて」の合唱)</p>

評価方法

実技点 7割 (課題提出で評価されるものも含む)
 平常点 3割 (提出物・主体的、協働的に学ぶ態度・出席状況)

備考

--

シラバス [音楽]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	未来探究	演奏研究 A		2
教科書				
担当者によるプリント教材				

授業のねらい (年間指導目標)
<p>ピアノや声楽を通して、初等教育に必要な思考力・判断力・表現力を身に付けます。</p> <p>LCを取り入れそれぞれのレベルに対応できるように授業を行う。</p>

授業の進め方 (年間指導計画)

1 学期	<p>【鍵盤楽器】 基礎的なピアノの奏法を学ぶ。</p> <p>【歌唱】 自然な発声ができるように、正しい姿勢や呼吸法を学ぶ。 校歌、甲子園大会歌「今ありて」を歌う。</p> <p>【楽譜の書き方】 楽譜の写譜を通して楽譜を読む力をみにつける。</p>
2 学期	<p>【鍵盤楽器】 ピアノの奏法やコードネームを覚える。</p> <p>【歌唱】 発声用の教材を用いて、歌唱の練習をする。 校歌、卒業式歌、甲子園大会歌「今ありて」を歌う。</p> <p>【読譜】 ト音記号の楽譜を読む練習をする。</p>
3 学期	<p>【鍵盤楽器】 ピアノの楽曲を通して表現力を身につける。</p> <p>【歌唱】 校歌、卒業式歌、甲子園大会歌「今ありて」を歌う</p>

評価方法
<p>実技点 7割 (課題提出で評価されるものも含む)</p> <p>平常点 3割 (提出物・主体的、協働的に学ぶ態度・出席状況)</p>

備考

シラバス [音楽]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校 2 年	グローバル選抜 探究・選抜・未来 探究	芸術	音楽Ⅱ	2
教科書				
『ON! 2』音楽の友社				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景等との関わり及び音楽の多様性について理解を深め、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。</p> <p>(2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを深く味わって聴くことができる。</p> <p>(3) LC を取り入れ主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	<p>【歌唱】多様な表現形態を通して、日本語や外国語の歌詞と発音を味わい、曲種に応じた発声による歌唱表現を行う。〈校歌、甲子園コーラス『今ありて』の合唱等〉</p> <p>【鑑賞】音楽に関わる作品をみて、表現内容をまとめる。</p>
2 学期	<p>【歌唱】独唱力を高める。〈校歌、甲子園大会歌『今ありて』の合唱、卒業式歌、ミュージカルの歌唱〉</p> <p>【器楽】鍵盤楽器の初歩的に奏法を学ぶ。</p> <p>【鑑賞】日本や世界の各地域の音楽の特徴を知り、音楽の良さや美しさを感じ取る。</p>
3 学期	<p>【鑑賞】世界のポピュラー音楽の文化について理解を深める。</p> <p>【器楽】鍵盤楽器のコードを弾けるようにする。</p> <p>【歌唱】校歌、卒業式歌、甲子園大会歌『今ありて』を歌唱する。</p>
評価方法	
実技点	7 割 (課題提出で評価されるものも含む)
平常点	3 割 (提出物・主体的、協働的に学ぶ態度・出席状況)

備考

シラバス [音楽]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	未来探究	演奏研究 B		2
教科書				
担当者によるプリント教材				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>ピアノの基礎を習得し、保育に使える曲の弾き歌いができるようにする。また、LC を取り入れた主体的な音楽活動により、一層豊かな感性や表現力を身につける。</p> <p>それぞれのレベルに応じて、対応する。</p> <p>創作を取り入れることにより、それぞれが自由な発想の中で創意工夫をしながら、発表できる機会をつくる。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	<p>【鍵盤楽器】 ピアノの基本的な奏法を身につける。</p> <p>【歌 唱】 基本的な発声法を身につけてから、専門的な歌唱教材に取り組む。 校歌、甲子園コーラス『今ありて』の合唱</p>
2 学期	<p>【鍵盤楽器】 ピアノの奏法を更に発展させる。</p> <p>【歌 唱】 前学期で学んだことを発展させて、様々な歌唱教材に取りくむ。 校歌、卒業式歌や甲子園大会歌を教材として用いる。</p>
3 学期	<p>【鍵盤楽器・歌唱】 平易な歌の弾き歌いをする。 校歌、卒業式歌や甲子園大会歌を教材として用いる。</p>
評価方法	
実技点	7割 (課題提出で評価されるものも含む)
平常点	3割 (提出物・主体的、協働的に学ぶ態度・出席状況)

備考
ピアノ以外の楽器を用いることもある。

シラバス [音楽]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	未来探究	ソルフェージュ		2
教科書				
担当者によるプリント教材				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>ソルフェージュとは、楽譜を速く読み、頭の中でどのような音になっているか判断できるように訓練する授業である。この力を身につけることにより、演奏や歌唱に繋がる。</p> <p>LCを取り入れピアノ等を用いながら、音楽の表現力を充実させる。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	<p>楽譜の書き方、リズム打ち、譜読み、音あて、歌唱の基本的なことを学ぶ。</p> <p>適宜、様々な楽器を用いるようにする。</p> <p>校歌、甲子園コーラス『今ありて』の合唱</p>
2 学期	<p>楽譜の書き方、リズム打ち、譜読み、音あて、歌唱の応用的なことを学ぶ。</p> <p>適宜、様々な楽器を用いるようにする。</p> <p>校歌、卒業式歌や甲子園大会歌を教材として用いる。</p>
3 学期	<p>楽譜の書き方、リズム打ち、譜読み、音あて、歌唱の発展的なことを学ぶ。</p> <p>適宜、様々な楽器を用いるようにする。</p> <p>校歌、卒業式歌や甲子園大会歌を教材として用いる。</p>
評価方法	
実技点	7割 (課題提出で評価されるものも含む)
平常点	3割 (提出物・主体的、協働的に学ぶ態度・出席状況)

備考

シラバス [音楽]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選抜・未来探究	芸術	音楽	2
教科書				
改訂版 『高校生の音楽 3』 音楽の友社				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽文化の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながら良さや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。</p> <p>(3) LC を取り入れ主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	<p>【歌 唱】 校歌・今ありて・日本の歌・外国の歌</p> <p>【鑑 賞】 音楽をモチーフとした映画を鑑賞し、内容を文章にまとめる。</p>
2 学期	<p>【器 楽】 基本的なピアノの実習</p> <p>【歌 唱】 卒業式歌の歌唱をする。</p>
3 学期	<p>【歌 唱】 卒業式に向けて、式歌を練習する。</p>
評価方法	
実技点	7 割 (課題提出で評価されるものも含む)
平常点	3 割 (提出物・主体的、協働的に学ぶ態度・出席状況)

備考

シラバス [音楽]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	未来探究	演奏研究 C1		2
教科書				
担当者によるプリント教材				

授業のねらい (年間指導目標)	
読譜や歌唱、音の聞き取りを中心に LC を取り入れた音楽の表現力を学ぶ。(適宜ピアノの実技を取り入れる) 楽典を通して、音楽の背景的な知識を学ぶ。	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	【ソルフェージュ】 旋律の読譜・旋律の視唱・旋律の聴き取り 【実技】 ピアノ
2 学期	【ソルフェージュ】 旋律の読譜・旋律の視唱・旋律の聞き取り 【実技】 ピアノ 【楽典】 音程・楽語
3 学期	【ソルフェージュ】 旋律の読譜・旋律の視唱・旋律の聞き取り 【実技】 ピアノ 【楽典】 音程・楽語
評価方法	
実技点 7 割 (課題提出で評価されるものも含む)	
平常点 3 割 (提出物・主体的、協働的に学ぶ態度・出席状況)	

備考